



おおきに

ニュースレターVol.23

2011.2 発行

NPO法人スペシャルオリンピックス日本・京都

〒604-8083

京都市中京区三条通柳馬場東入中之町2
京都YMCA内<3F>

TEL 075-211-1574 FAX 075-211-1590

HP <http://www.son-kyoto.com>E-mail miyake3-2@nifty.com

"Let me win but if I cannot win Let me be brave in the attempt"

「私に勝たせてください。もし勝てないとしても頑張る勇氣を持たせてください」

NG大阪 団長報告

SON・京都団長

幸前 清孝

平成22年11月5日(金)から7日(日)までの3日間にわたり、第5回スペシャルオリンピックス日本・夏季ナショナルゲームが「なにわへ集え 挑戦者! 夢と勇氣をもって!」のテーマのもと、参加地区46地区組織及び設立準備委員会、参加アスリート1050名の他、計16500名の参加により大阪で開催されました。

京都地区からは水泳・ボウリング・バスケットボール・バレーボール・サッカーの5つの競技にアスリート30名、コーチ13名、正副団長の計45名の選手団で臨みました。結果は、水泳で金メダル1・銀2・銅2、ボウリングでは銀2・銅1、バスケットボールは金、バレーボールは銀、サッカーは銀でした。

京都駅に10時集合でしたが、9時過ぎにアスリートが集まりだし、大会への大いなる意欲が見受けられました。開会式場の大阪城ホールにバスで到着後、昼食をとりヘルシー・アスリートプログラムを受け、開会式では、高円宮妃久子殿下入場に始まり、京都選手団は新調したウィンドブレーカーと千理事長の寄付による帽子を身につけて入場行進をしました。アトラクションでは松浦亜弥の歌、梅花女子中高等学校の100名以上によるチアリーディングがありましたが、あまりにも壮観で感激しました。

2日目は予選と一部決勝、3日目は決勝と閉会式が行われましたが、競技会場が舞洲、新大阪、なみはやドーム・長居競技場とバラバラであったため会場を廻るのが大変で、二日をかけて何とか全ての会場で応援することができました。そこではボランティアの数が想像以上に多かったことが印象的でした。最終日には千理事長がボウリング、バレーボール、バスケットの観戦に来られました。帰りのバスでは、NHKでバスケのアスリートの臼田君、早船さんのインタビューが放映され、大会の余韻は最高潮となりました。にわか仕立てで、おまけにナショナルゲームが初めてという状況でありながら、副団長の三宅さんにお世話になりつつ団長を無事に務めさせていただきまことを、サポート戴いたコ・チとファミリー・そして資金援助を戴いた諸団体等の皆様に感謝申し上げます。そして、参加された京都そして全国のアスリートから元気を戴いたことに感謝いたします。



2010年第5回スペシャルオリンピックス日本 夏季ナショナルゲーム・大阪

水泳ヘッドコーチ
寺井 洋一

2010年スペシャルオリンピックス日本大会が11月5～7日に大阪府で開催されました。地区組織が全都道府県にできあがって初めての記念すべき大会です

私たち水泳チームはアスリート6名、コーチ3名の選手団です。京都選手団は全員いっしょに貸切バスで開会式場の大阪城ホール向かいました。1日目は開会式、2,3日目が競技日になっています。

水泳会場は大阪市の西端の島、舞洲にある障がい者スポーツセンターのプールです。アスリートたちは、会場の雰囲気慣れるために昨年このプールで行われた大阪地区水泳競技会に出場していますので落ち着いて参加できました。

また、今まで日本大会は競技会当日は朝5時の起床というハードスケジュールですが、今回はセンター内宿舎に泊まれたのでアスリートの身体的負担は少なくすみ大会事務局の配慮に感謝しました。

さていよいよ競技会の始まりです。参加人員が多数のため出場種目は一種目に限られています。それぞれ得意の種目で参加しました。

京都からは50m平泳ぎ(大野)、100m自由形(小林)、100m個人メドレー(林)、25m背泳ぎ(三宅)、25m自由形(奥野、菅原)、4×25mメドレーリレー(三宅、大野、林、小林)に参加しました。

1日目は予選で、2日目は決勝です。スペシャルオリンピックスでは年齢やタイム別に出場組を決め同じ力の人同士が競うことになっています。地区記録会での申告タイムで決まった予選の組で、みんながんばって泳ぎました。予選のタイムにより決勝の枠組みが決まりメダルを目指して泳ぎました。予選より速くなった人、疲れて遅くなった人もいましたが、全員完泳することができました。

観客席のファミリーの大きな声援はアスリートを大きく力づけました。アスリートの皆さんは、今回日本大会に参加してよい経験をしたと思います。

最後になりましたが、ファミリー、コーチ、スペシャルオリンピックスを支援してくださっている皆さんの協力によりこのように楽しい大会になりました。御協力に感謝をいたします。



サッカーヘッドコーチ
篠崎 昇

秋晴れの三日間で大変思い出に残る大会でした。

私はサッカープログラムでヘッドコーチとして対外試合が初めてでしたので特に印象深い体験でした。普段の練習試合とは違う一面をアスリートが見せて、今後の接し方、練習方法、目標設定など多くの課題点をアスリートの姿を観ていると考えさせられるものがありました。ちなみに、試合結果は、デビジオン2で銀メダルでした。

試合結果にはいろいろと評価はありますが、私としては、充分満足しています。チーム(5人制)の中にはサッカーの基礎であるパスが出来ないアスリートが3人出場しており、彼らのひたむきなプレーに応援して下された方、また大会ボランティアの方などに何かを伝える事が出来たと想いました。このような機会を与えて頂き大変感謝してします。



幸前団長と集合写真



バレーボールヘッドコーチ
城 裕幸



私たちバレーボールプログラムは、昨年12月に行なわれた大会で熊本、大分に完敗した後、ナショナルゲームでの「リベンジ」を胸に日々のプログラムに励んできました。そのような、みんなの気持ちを代表して7名のアスリート、3名のコーチがチャレンジした3日間でした。



予選では硬さがあり普段のプレーが見られず、消極的なミスが目立ちました。不安をもったまま決勝トーナメント1回戦では昨年完敗した大分と対戦しました。予選とは違って変わり、練習で繰り返し取り組んできたサーブ、つなぎのプレーがいかに発揮され、全員が一つになり勝利することができました。決勝戦では同じく昨年完敗した熊本と対戦。惜しくも負けてしまいましたが、昨年の大会とは違いラリーの応酬、好プレーの連続で2セット目は連続デュースの26 - 28という大接戦を演じることができました。

3日間を見事に頑張りきってくれたアスリートたち、表彰式では胸を張って銀メダルを手にしてくれました。そして、メダルとともに一人ひとりのアスリートが大きな自信をつかんでくれたと思います！

ボウリングヘッドコーチ
青木 繁幸

ボウリングプログラムは今回3名のアスリート（男子2名、女子1名）と2名のコーチで参加いたしました。SON・京都のボウリングアスリートは30数名、その中で今回のNG参加希望者は20名弱・・・、選手を選抜するのに本当に苦労しました。



会場はイーグルボウル、ここは大阪地区大会で毎年参加させて頂いている会場ですのでやりやすかったと思います。

1日目は予選で3ゲーム行いました。茨木君は少し調子が悪いのかいつもよりアベレージを落として2位で通過。本戦も同じデビジョン（16歳～21歳）となりました。馬嶋君は30歳以上のデビジョンで上から2番目のレベルでの予選ですが非常に調子が良く、3ゲーム目には199点をたたき出し、本戦は一番上のランクに配置されました。逆に梅木さんはいつもの調子が出せず、本戦は1ランク下のデビジョンに配置されました。ですがこれが幸いして銀メダルを獲得することが出来ました。茨木君は本戦でも調子が出ず、本人は不満そうでしたが銀メダルを獲得しました。馬嶋君の本戦のデビジョンは本当にレベルが高くここに配置されたことを不幸に思うくらいです。馬嶋君の調子ももう一つでメダルはあきらめていたのですが、またまたしり上がりに調子上げ、なんとなんと3位入賞！銅メダル獲得です。



京都のボウリングアスリート全員がメダルを獲得できてよかったと思います。

夏季ナショナルゲーム競技結果

【水 泳】

林 共幸	銀	個人100メートルメドレー
大野 克起	銅	個人 50メートル平泳
三宅 大介	銅	個人 25メートル背泳
小林 洋祐	金	個人100メートル自由形
奥野 恵里衣	7位	個人25メートル自由形
菅原 永里	失格	(泳法違反)

林 共幸 大野 克起 三宅 大介 小林 洋祐
銀 団体200メートルメドレーリレー

【ボウリング】

馬嶋浩二（銅）、茨木久登（銀）、梅木典子（銀）

【バスケット】

金（デビジョン2）
溝口智之、竹岡洋行、森田裕也、塩谷大輔
臼田 昇、谷本侑吾、早船曜子、有富慎吾

【サッカー】

銀（デビジョン2）
田子陽一、辻 史都、林田昌洋、
濱村 幸太郎、古井宣光、村山研斗

【バレーボール】

銀
黄瀬修一、前田貴夫、安田知史、安田良行
橋本真明、浮田礼子、山口さつき

今回、スペシャルオリンピックスナショナルゲーム大阪に参加させて頂き、本当にありがとうございました。



わがチームが他チームのすごいプレ-を目の当たりにし、刺激をもらい思い切りやった結果はディビジョン で金メダルに輝く、というものでした。みんなよくやりました。

コーチとしては、試合を通して一つレベルの高いプレ-を獲得し、上手くなっていくアスリート達を見られたことが最も嬉しかったです。また大会でお世話になったファミリー、ボランティアの方々への感謝の気持ちを、アスリート達がおしゃべりの合間にポロっと出したりして、これもうれしい出来事でした。

京都バスケットボールチームは、「もっと頑張ろう」という気持ちを今大会からおみやげに持ち帰りました。これからも怪我をしないよう気をつけてプログラムに取り組んでいきます。

今回の大会を支え応援していただいた全ての皆さんに感謝いたします。

クリスマス会報告

ボウリングコーチ

原野 良子

少しお先にジングルベル・・・

恒例のSON・京都クリスマス会が、12月19日(日)ルビノ堀川にて賑やかに執り行われました。今年は、ユニティカップの報告が、橘 勇佑さんより行われ、南アフリカでの試合の様子や中田英寿さんとのスナップ写真などがスライドで紹介されました。(会場内、「うらやましいため息」があちこちで聞かれました)



また、ト・チウォークの報告やナショナルゲーム大阪の報告など、皆の頑張りに温かい拍手が送られました。

2010年は、まさに躍動の年。それぞれのプログラムメニューを加えると今年一年は内外含めて多くの人達が交流・活躍したスペシャルオリンピックスイヤ-だったと感じさせられました。

それに続く食事をしながらの各スポーツプログラムからの出し物は、年々趣向が凝らされクリスマスソングあり、フォークソングあり、アニメソングありと大声で歌うアスリート達の楽しそうな表情。Exileのダンスパフォーマンスもかっこよく楽しい時間を送る事ができました。

クリスマスに付き物のクリスマスプレゼントは、ビンゴゲームやジャンケンゲームで獲得。かわいいぬいぐるみやお菓子をゲットしました。

「また、来年もよろしくね」アスリート達との握手を繰り返し再会を約束。

一年を締めくくるクリスマス会の帰り道は、何故か毎年ほっこりと温かな気分になるのでした。



橘 勇佑君の報告



トーチウォークの報告



アスリート達の歌です。

橘 勇佑君！お疲れ様

スペシャルオリンピックス・ユニティカップ経過報告

1.開催概要

開催日時：2010年7月3日（土）2010FIFAワールドカップ準々決勝当日の試合前

会場：グリーンポイントスタジアム（南アフリカ、ケープタウン）

試合形式：11人制、20分（10分ハーフ）

主旨：世界中で何百万人の視聴者がいるワールドカップにおいてサッカー界や各界の著名人とスペシャルオリンピックス（SO）のアスリートがチームを組み、ユニファイド（SOアスリートと障がいのない人がチームやペアで参加する独自の競技形式）の試合をすることでSOの認知度を向上させ、スポーツを通じてインクルージョンのメッセージを共有する。

参加者：ワールドカップに出場する32カ国から選ばれたスペシャルオリンピックスのアスリート16人、およびサッカー界の伝説的人物や各界の著名人

【スペシャルオリンピックス・日本 アスリート】

橘 勇佑：スペシャルオリンピックス日本・京都
1991年10月生まれ 京都府京都市在住



【サッカー界・各界の著名人 16名】

中田 英寿、ジェイコブ・ズマ（南アフリカ共和国大統領）
チャン・ツイイー、ディケンベ・ムトンボ（SOグローバルアンバサダー）
クラレンス・セードルフ、アラン・シアラ、ローリー・フェア、
エンリケ・ボルハテオフィロ・クビジャス、デジリー・エリス、スティーブ・サマー
ケビン・キーガン・クリスティアン、カランブー・ルーカス・ラデベ

主なスケジュール（選考～出発）

4月19日：SO国際本部より、橘勇佑スペシャルオリンピックス・ユニティカップ出場決定通知

5月21日：「スペシャルオリンピックス・ユニティカップ記者発表」@岸記念会館

5月22日：日本代表 岡田武史監督表敬訪問@さいたまスタジアム

6月 4日：京都にて橘さん取材（NHKおはよう日本・TBS情報番組Nスタ・新聞各紙）

6月19日：adidas様ご招待・パブリックビューイング日本代表戦観戦@埼玉アリーナ

6月29日：成田空港出発

2.記者発表

開催日時：2010年5月20日（木）14:00～

会場：岸記念会館1階 日本スポーツマンクラブ

出席者：有森 裕子 認定NPO法人 スペシャルオリンピックス日本 理事長
橘 勇佑 NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・京都 アスリート
井垣 勉 日本コカ・コーラ株式会社 広報本部
コーポレートコミュニケーションズグループ部長

主旨：スペシャルオリンピックス・ユニティカップの開催、そしてこの史上初の取り組みに、
本からアスリートが出場すること、そして橘勇佑さんの挑戦を広くメディアに発表
し、知的発達障害のある人達の可能性、そして日本ではまだまだ認知度の低いスペ
シャルオリンピックス活動を広めるための広報活動として開催いたしました。

協力：日本コカ・コーラ株式会社

【取材メディア】

1 テレビ局

日本放送協会、TBSテレビ、TOKYO MX

2 全国紙

朝日新聞社、毎日新聞社、産経新聞社、共同通信社、時事通信社

3 専門紙

商業経済社、小売経済新聞社、スポーツニッポン新聞社、日本運動具新報社、食品産業新聞社
週刊食品、帝国飲食料新聞社、自動販売機新聞社

参加メディア総数 計16媒体 25名



ユニフォーム提供：アディダス ジャパン株式会社

会場関連協力：財)日本体育協会、日本スポーツマンクラブ、メディアセンス株式会社、株式会社ジェイブレイン

3.スペシャルオリンピックス・ユニティカップ

参加者：橋 勇佑

同行者：橋 ひとみ(母)、新宅 正明(SON副理事長)、
宍戸 咲季子(SON広報)、園部 さやか(SONアスリートケア)

主なスケジュール(日本出発～スペシャルオリンピックス・ユニティカップ～日本帰国)

6月29日：日本出発 米国/アトランタ到着

30日：米国アトランタ出発 南アフリカ/ヨハネスブルグ経由 ケープタウン到着

7月 1日： 16:00 ウェルカムセレモニー

19:30 夕食会 デザート会(コーチ、アスリートVIPゲストと交流会)

2日： 10:00 現地SO交流会

14:30 チーム練習

19:00 夕食会(南アフリカの著名人を迎えた催し)

3日： 14:00 スペシャルオリンピックス・ユニティカップ キックオフ

19:30 夕食会(ユニティカップ表彰式)

4日：南アフリカケープタウン出発 南アフリカ/ヨハネスブルグ経由 米国アトランタ到着

5～6日：米国/アトランタ出発 日本到着

デルタ航空からマイレージ寄付により往復渡航しました。

試合結果：(2 - 2) 橋勇佑 10分間フル出場、1アシスト



ユニティカップに参加して

橘 勇佑

6月29日から7月6日まで、アメリカのアトランタ、南アフリカのケープタウンに行きました。まず成田空港を出発し、アトランタで1泊しました。アトランタでは水族館やコココーラの博物館、街並みを見たりして観光しました。

南アフリカのケープタウンでは、着いた翌日から地元のSO（南アフリカ）との交流会がされました。僕はサッカープログラムに参加し、日本人との差を感じました。体格・身体能力・筋肉の付きかた・練習のやり方等全てにおいて上でした。

午後からユニティカップに出場するメンバーと練習しました。その時初めて中田英寿さんに会い、喋ったりしました。その後バスに乗って練習場に向かい練習をしました。ズマ大統領やチャン・ツイイさん、ACミランのセードルフ選手とすごい顔ぶれでした。練習は楽しかったし、練習の際、中田さんに通訳してもらいました。

練習後、ホテルに戻りちょっとだけ休憩し16:00ぐらいから古いお城に移動してパーティーに参加し、南アフリカ料理を食べました。パーティーを終えてバスに乗り、ホテルに戻って直ぐに寝ました。

翌朝（試合当日）朝食を食べた後、11:00ごろまでゆっくりしていました。11:10ぐらいからグリーンポイントスタジアムに移動しました。着いてすぐウォームアップを10分くらい行い、5分後に試合をしました。試合は2 - 2の引き分けでした。自分が目標としていた1ゴール出来なかったことが悔しかったし、芝に水が撒いてあって足が滑りました。何本かシュートを打てたので、もっと精度を上げたいと思いました。



© PHOTO KISHIMOTO

2011年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アテネ 大会概要

スペシャルオリンピックスでは、オリンピックと同様に4年毎に夏季・冬季の世界大会を開催しています。2011年6月25日～7月4日の10日間にかけて、アテネで夏季世界大会が開催されます。スペシャルオリンピックス日本では、「2010年第5回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・大阪」の結果を基に選考された日本選手団を派遣します。

1) 大会名称：2011年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アテネ

英文：Special Olympics World Summer Games Athens 2011

2) 開催時期：2011年6月25日～7月4日

ホストタウンプログラム 6月20日～6月24日

3) 開催地：ギリシャ共和国、アテネ

4) 参加者：アスリート・・・185ヶ国・地域より7,500人

コーチ・役員・・・2,500人

ボランティア・・・25,000人

5) 日本選手団：アスリート 52人

コーチ・役員 23人



6) 開催競技・式典会場：22公式競技を実施/日本選手団として派遣するのは9競技

競技・式典	会場
開/閉会式	Kallimarmaro Panathinaikon Stadium
水泳競技	Olympic Aquatics Center (Indoor Pool) (OAKA- Athens Olympic Sport Complex)
陸上競技	Olympics Stadium (OAKA- Athens Olympic Sport Complex)
バドミントン	Fencing Hall 1 (HELC- Helliniko Olympic Complex)
ボウリング	Spata Blanos Sports Park (予定)
ゴルフ	Glyfada Golf Course
体操競技	Olympics Indoor Hall (HELC- Helliniko Olympic Complex)
卓球	Sports Training Halls 2 (SEFP- Peace & Friendship Stadium Pireaus)
テニス	Olympic Tennis Center (OAKA- Athens Olympic Sport Complex)
バレーボール	Olympic Stadium Sports Hall (OAKA- Athens Olympic Sport Complex)

7) その他イベント

- ・ヘルシー・アスリート®/国際法執行者トーチラン®/ホストタウンプログラム
- ・グローバルユースサミット/スペシャルオリンピックスフェスティバル
- ・ユニティ・スポーツ・イベント